

伯耆の国よなご文化創造計画検討委員会（第17回）

と き 3月26日 15時から  
と ころ 米子市第2庁舎第1会議室

\*\*\*\*\* 日 程 \*\*\*\*\*

1 開会

2 あいさつ

3 委員長互選

- (1) 委員自己紹介
- (2) 選任の方法について説明
- (3) 互選
- (4) 新委員長あいさつ

4 議事

(1) 報告事項

- ① 機構改革に関連して
- ② 文化創造計画の進捗状況について

(2) その他

4 閉会

伯耆の国よなご文化創造計画検討委員

	氏名	所属等	
1	伊藤 千代	市立図書館	再
2	遠藤 彰	(公募委員)	再
3	狩野 弘幸	(公募委員)	再
4	神庭 美喜恵	よみきかせサークル	再
5	国田 俊雄	山陰歴史館	再
6	小原 顕	明道公民館	新
7	佐伯 啓子	小学校長	再
8	先灘 達也	美術館	再
9	高橋 素子	(公募委員)	再
10	田中 秀明	米子市淀江地域協議会	新
11	福島 多暉夫	文化団体役員	再
12	前田 宣子	歴史館運営委員会	再
13	丸山 柚美	米子市文化財保護審議会	再
14	山根 郷子	淀江文化センター	再

## 平成24年4月1日付け行政組織機構改正について

### 1 改正の目的

教育委員会事務局の充実及び危険家屋対策の推進を目的とした組織体制の整備を図るもの。

### 2 改正の内容

#### (1) 教育委員会事務局の充実について

##### ア 教育委員会事務局機能の強化

教育委員会事務局の機能強化を図るため、教育総務課内の係を再編し、同課内に教育企画室及び学校管理係を設置する。(2名増員)

##### 【具体的な再編内容】

総務係の所掌事務（教育委員会統括事務及び学校経理事務等）と管理係の所掌事務（学校整備事務等）を再編し、新たに教育企画室（教育委員会統括事務に特化）及び学校管理係（学校経理事務及び整備事務等を所掌）を設置する。

なお、教育企画室においては、教育施設の大規模改修等、教育委員会の重要課題への積極的な対応を図るとともに、教育長の特命事項を所掌する。

※参考1—教育委員会所管の大型建設事業等について( )は所管課

- ① 学校耐震化促進事業（教育総務課）
- ② 図書館・美術館整備事業（生涯学習課、文化課）
- ③ 文化創造計画後期計画事業（文化課）
- ④ 湊山球場史跡公園化事業（文化課）
- ⑤ 公会堂改修事業（文化課）
- ⑥ 東山屋内水泳場改修事業（体育課）
- ⑦ 市民体育館改修事業（体育課）
- ⑧ 中学校給食実施事業（学校給食課）

#### イ 中学校給食推進室の設置

中学校給食の完全実施（平成27年4月）に向けて、学校給食課内に中学校給食推進室を設置する。(2名体制)

#### ウ その他（文化創造計画後期事業の対応について）

山陰歴史館整備事業及び湊山球場史跡公園化事業等の文化創造計画後期事業については、当面、全庁的な視点から庁内検討委員会を設置し、今後の在り方を検討する。

文化創造計画のスケジュール進捗状況

区分	年度	18	19	20	21	22	23	24	備考
ソフト事業									
(1)歴史的文化の掘り起こし事業									
○よなごの宝88選			「よなごの宝88選」候補公募			「市民が選んだよなごの宝八十八」製作頒布			
(2)文化活動の促進支援事業									
○よなごの景観88			〈私の好きな米子の景観〉四季ごとの写真作品公募1-3回開催	「あなたが選ぶ米子88景」展開催 「よなごの景観88選」展開催	「88Photomallよなごの景観88選」写真集製作 第4回作品展開催 「下町発！89フォトモール+蔵連携ギャラリー」				
(3)文化創造計画人づくり事業									
			(米子市美術館サポーター)	(米子市美術館サポーター)	(米子市美術館サポーター) (歴史館友の会)	「よなご88探訪会」9回開催 (米子市美術館サポーター) (歴史館友の会)	「よなご88探訪会」12回開催 (米子市美術館サポーター) (歴史館友の会)	「よなご88探訪会」継続予定 (米子市美術館サポーター) (歴史館友の会)	
・ハード事業									
(4)文化施設等の整備事業									
図書館整備事業			整備方針検討開始	市長マニフェスト〈緊急重点施策〉	プロジェクトチーム設置・整備方針案	基本設計	実施設計	増築・改修工事	
美術館整備事業			整備方針検討開始	市長マニフェスト〈緊急重点施策〉	プロジェクトチーム設置・整備方針案	基本設計	実施設計	改修工事	
山陰歴史館整備事業								あり方の検討を行います	未着手
伯耆古代の丘整備事業									
◎史跡上淀廃寺跡整備			環境整備工事 (基壇展示工) (排水対策工) (電気・給水設備工) (解説板等実施計画)	環境整備工事 中心伽藍東辺実施設計	環境整備工事 解説広場実地設計	環境整備工事	環境整備工事	(全面共用開始)	
(ガイダンス施設工事)				ガイダンス施設実地設計	工事 展示設計	工事 展示制作業務 塑像完成(※除協侍)	上淀白鳳の丘展示館 オープン ※協侍製作・設置		
(史跡上淀廃寺跡買上げ)	追加指定地購入	追加指定地購入	追加指定地購入	追加指定地購入					
◎向山古墳群整備事業								あり方の検討を行います	未着手
埋文センター整備事業			整備工事 特別収蔵室設計	整備工事	整備工事	(供用開始)			
(5)歴史的文化資料の整理とデジタル化事業									
			歴史館未登録資料調査2000点余	歴史館未登録資料調査2300件余	歴史館未登録資料調査4400件余 雑図書資料調査(緊急雇用対策)	雑図書資料調査(緊急雇用対策) 860箱50,000点強(H21含む)	未登録資料調査(・非定型資料、一件資料) (緊急雇用対策) 《以降に収集・寄贈された資料など》	(継続予定)	
				《当初予定した未登録資料の調査・目録化は、ほぼ完了》					
(6)文化情報ネットワークの構築事業									
									未着手
・後期スケジュールの策定									
								後期計画策定予定	

# 「上淀白鳳の丘展示館：菩薩立像復元」概要

平成 24 年 3 月

## 專業概要

名称：上淀廃寺跡出土菩薩立像（2 軀）  
 設置者：米子市（所管：教育委員会事務局 文化課）  
 設置場所：上淀白鳳の丘展示館（平成 23 年 4 月 24 日開館、鳥取県米子市淀江町福岡 977 番地 2）  
 監修者：山崎隆之氏（愛知県立芸術大学名誉教授）・松田誠一郎（東京藝術大学准教授）  
 制作業者：愛知仏像修復工房（愛知県尾張旭市旭ヶ丘町旭ヶ丘 572 番地 18、代表：横川耕介）  
 監理業者：(株)文化財保存計画協会（東京都千代田区一ツ橋 2 丁目 5 番 5 号、代表：矢野和之）  
 工期：平成 23 年 5 月 9 日～平成 24 年 3 月 31 日（約 11 ヶ月）  
 指導：文化庁 文化財部 記念物課 内田和伸 文化財調査官  
 伯耆古代の丘整備検討委員会（水野正好委員長ほか 9 名、※別紙参照）

## 堂内復元：1) コンセプト

上淀廃寺の最盛期である奈良時代以降の金堂内を、出土状況・出土品から推定復元  
 来館者が当時の堂内を疑似体験できる空間とした

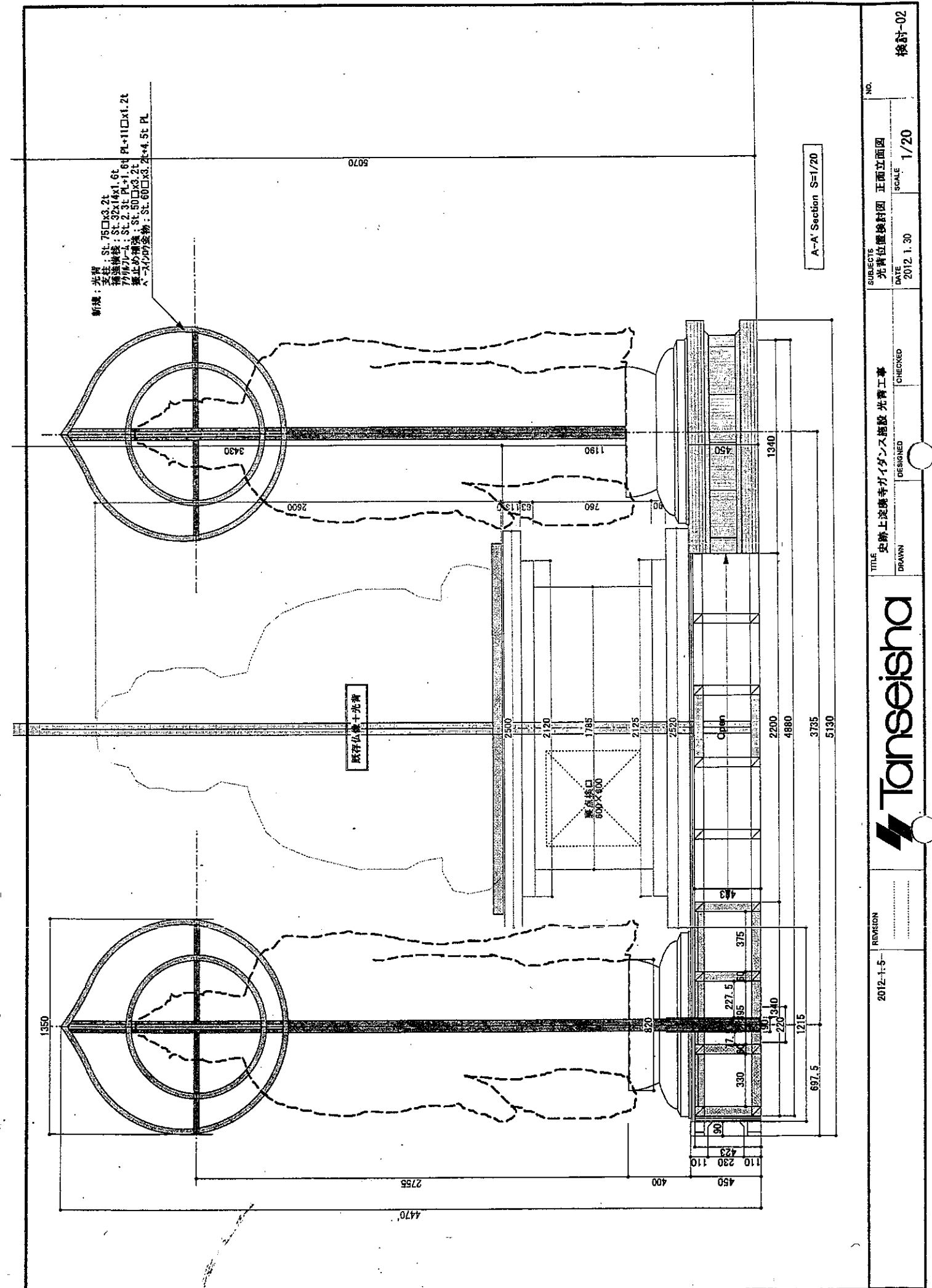
## 2) 塑像の復元

対象時期、堂内安置したのが確実な、丈六級如来坐像 1 軀（22 年度既設置）、1 丈  
 級菩薩立像（高さ 3.0m、台座高 0.4m、総高 3.4m）2 軀の計 3 軀を復元する  
 材料はエポキシ系樹脂を使用し、学術的・時間的に復元が困難な仕上色は、塑像の  
 地色とした

## 菩薩像設置スケジュール（暫定）

[2 月 28 日（火）～3 月 16 日（金） 上淀白鳳の丘展示館休館]  
 3 月 6 日（火） 13:00～16:00 伯耆古代の丘整備検討委員会  
 3 月 8 日（木）～3 月 11 日（日） 菩薩像設置工事  
 3 月 13 日（火） 上淀・北尾自治会  
 3 月 14 日（水） 10:00～15:00 市議会議員  
 13:00～15:00 報道機関  
 3 月 17 日（土） 上淀白鳳の丘展示館再開

担当：米子市教育委員会事務局 文化課 岩田・福田  
 電話 0859-23-5438 FAX 0859-23-5414  
 E-mail bunka@city.yonago.lg.jp







# よなごの宝88選通信

発行：よなごの宝88選実行委員会(事務局・米子市教育委員会文化課内)

## 探宝地：淀江界限

### 宿場町の面影が残る淀江の町並み

#### 大きな酒蔵や淀江台場跡などを訪ねる

一月下旬のこの時期、心配された雪は降りませんでした。底冷えする寒さの中、淀江公民館長の田中秀明さんの案内で、淀江の町中をめぐるりました。出発地点の「淀江公民館」のある場所は、江戸時代には藩倉があり、明治期から昭和四十四年までは淀江小学校があった所だとの説明を聞きました。



今回の案内人の田中秀明淀江公民館長から説明

隣接する「和傘伝承館」では和傘(淀江傘)の製作風景を見学しました。旧石原酒造酒蔵は、蔵をそのまま生かして改装し、今は「ギャラリア大正蔵」になっ



大正蔵のオーナー石原晃さんの説明を聞く

ています。オーナーの石原晃さんに案内していただき、酒をつくっていた当時のようすや、酒造りをやめた理由など話していただきました。

た。これからも、いろんなことに活用できそうな素敵な空間が広がる『大正蔵』でした。

古い町並みが残る小路を、「寿劇場跡」や「旧吹野酒造酒蔵」、江戸時代の庄屋で、この地域の発展に多大な功績があった柄川家の屋敷跡などをめぐりました。特に江戸中期に活躍した柄川三代のことは、今も語り継がれているそうです。

幕末につくられた鳥取藩淀江台場跡は、きれいに公園として整備され、現在は三分の一ほどの土塁が残っています。土塁の上に登ったら、淀江港、弓浜半島、島根半島などが眺望できるだろうと思いつながら、寒さには勝てませんでした。またの機会の楽しみにします。



# ❀❀ 寒風の中、淀江の町を歩く ❀❀

淀江界隈の探宝会は、先日（24日）の大雪のなごりが道端に残っており、小雨模様のとても寒い中でした。宿場町の面影を残す淀江の小路や酒蔵をめぐりました。淀江の町には、今回訪ねることが出来なかった所にも、まだまだ素敵な場所がありそうです。

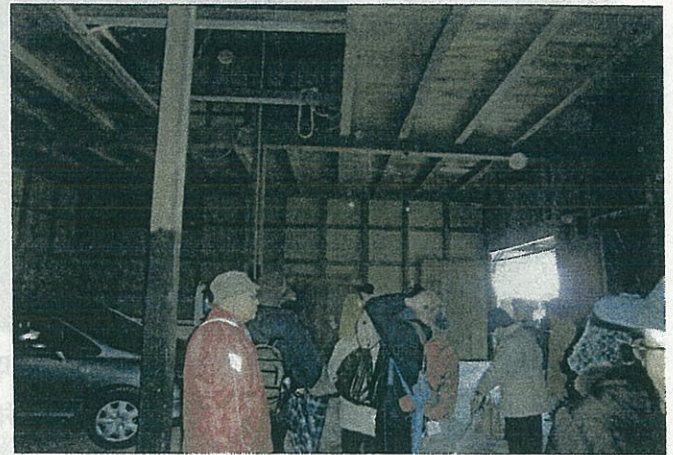


## ←傘をさしての小路めぐり

歩き始めた頃、小雨が降り出し心配しましたが、この後は、傘を開くことなく回れました。道端に雪が残っており、とても寒い午後でした。

## 旧吹野酒造酒蔵のなか →

明治時代に建てられた酒蔵や釜屋など昔の造り酒屋の雰囲気がよく残っていました。2階に荷物を上げる木製の滑車の大きさには驚きました。このままでは朽ちていきそうで、この文化遺産を何とか残していく方法を考えなければと思いました。



## ←柄川家屋敷跡の石碑前

江戸中期に活躍した柄川家三代。初代は日野・会見2郡の百姓一揆を治め、2代目は私財を投じて淀江お蔵(藩倉)を造り、3代目は新しい水路を開いて干害をなくした。そんな郷土が誇るべき人物の話しを聞きました。淀江の町発展の基礎を築いた人々は他にも有名無名たくさんおられたことでしょう。

## 淀江台場跡で土塁を見上げながら →

淀江台場は、文久3年(1863年)に築かれたもので、地元の松南(松波)徹翁が土地を提供し、長男の宏元が設計したものだそうです。

当時は大砲が設置され、外国船の来襲に備えていたそうです。開国の影響は日本中に及んでいたことがうかがえます。今は海岸から少し離れた場所になってしまいましたが、農兵たちは毎日緊張して海のかなたを見つめていたのでしょうか。

